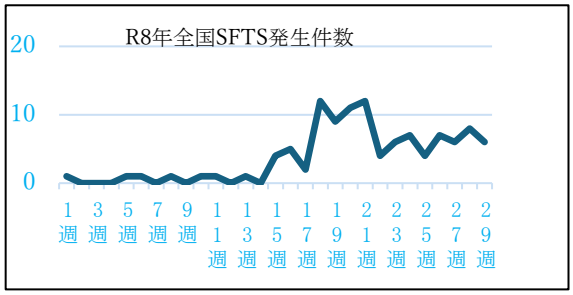
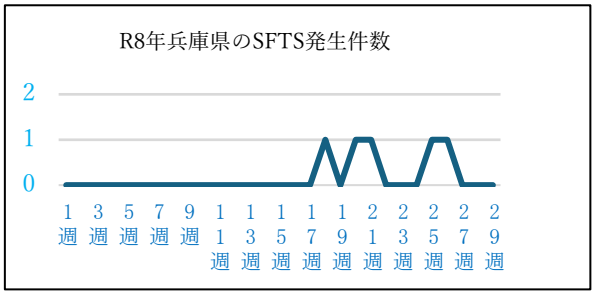
R8.8.13

重症熱性血小板減少症候群(以下 SFTS)は重症化します！

全国の感染状況

国立健康危機管理研究機構は、マダニが媒介するウイルス感染症「SFTS」の 7 月 19 日までの累計患者数（速報値）が **110 名**となったと発表しました。なお、兵庫県では **5 名**の報告がありました。





SFTS の感染経路

ＳＦＴＳウイルスを保有するマダニに刺咬されたり、ＳＦＴＳを発症している動物（犬や猫等）と接触することにより感染します。主な初期症状は、発熱、全身倦怠感、消化器症状（食欲不振、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）で、重症化し死亡することもあります。

予防方法

一番の予防方法は、マダニに刺されないようにすることです！！

①草むらや藪などマダニが多く生息する場所に入る場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を履き、また、帽子や手袋を着用し、首にタオルを巻くなど、肌の露出を少なくする。

②ＤＥＥＴ（ディート）やイカリジンといった成分を含む虫除け剤の併用（取扱説明書をよく読み、ご使用ください）。

③犬や猫などのペットがマダニに刺されないようにペット用のダニ駆除剤を使用したり、散歩後の体表チェック、目の細かいクシをかけるなどして注意する。

④動物に触れた後は必ず手を洗いましょう。

⑤屋外活動後は、入浴時にマダニに刺されていないか全身を確認する。

マダニに刺された時の対処法

■吸血中のマダニを見つけた時、 無理に自分で引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残り化膿したり、マダニの体液を逆流させ病原体が体内に入りやすくしてしまう恐れがあるため、マダニを見つけた場合は医療機関（皮膚科など）で処置してもらいましょう！

■マダニに刺された後は**数週間程度は体調の変化に注意**し、**発熱や全身倦怠感、嘔気・嘔吐等の症状が認められた場合は、すみやかに医療機関を受診**しましょう。

加東健康福祉事務所